

10 月 1 日(水) 【ニューデリー2025 世界パラ陸上競技選手権大会 コメント】

◆女子やり投げ (F55・座位)

小松沙季 (電通デジタル) 9 位

「世界のトップ選手達の投げ方や座位の座り方などを身近で見れて勉強になりました。

これからが、ロスパラリンピックに向けてスタートだなと実感しています。(パラカヌーからの転向について) 環境も違うし、周りにはメダルを取る選手達がたくさんいて良い刺激になります。この環境を選んで間違いはなかったと思う」



◆男子走り幅跳び (T13 クラス・視覚障がい)

福永凌太 (日本体育大学) 銀メダル

「状態としては跳んでみないと分からない感じだったが、トータル的にはアベレージも上がっているし跳びも良かったのだがまとめきれなかった。1 本目はファールでしたがこれは 7 m はいけると思った。走る、跳ぶ、投げるは全て僕の中ではつながっていると思っているので幅跳びの練習は、ほとんどしていなかったが、メダルは取れて良かった。次の 400m も今日の感触からするといけるかなと思うのでメダルを狙いたい」



◆男子 1500m (T54 クラス・車いす) 予選

岸澤宏樹 (日立ソリューションズ) 決勝進出

「予選は着取りだったので、どんな展開になるか予想は出来なかったが、落ち着いてレースができました。決勝はしっかり成長した姿を見せたいと思う」



◆女子 100m (T34 クラス・車いす) 決勝

小野寺萌恵 (北海道・東北パラ陸協) 4 位

「地元 (岩手) で練習しているよりタイムが良くて良かった。この大きな大会でタイムを出したいという気持ちはあった。スタート中心にピッチを上げる練習はしてきたのでその部分は良かったと思う。」

吉田彩乃 (GROP SINCERITE WORLD-AC) 6 位

「自分の納得できるタイムではなく悔しい。またこの舞台に立てるように日本に戻ってトレーニングを積んでいきたい。今年はアジアユース、来年はアジアパラがあるので頑張っていきたい」



◆男子 400m (T52 クラス・車いす) 決勝

佐藤友析 (モリサワ) 金メダル

「しっかり勝ち切ることができたのは良かった。目標としていたタイムは 52 秒台だったのでそこは残念。前半、突っ込み過ぎて最後のストレートは疲れました。100mはどこまで日本選手、海外選手含めて通用するか気になるところでもある。精一杯頑張りたい。もちろんメダルを狙う」

上与那原寛和 (SMB C日興証券) 銀メダル

「先輩 (伊藤智也) 差し置いて先に行けるとは思わなかったのでうれしいです。昨日の予選の感じで前半は全力でいって、後半状況を見て調整したことが今日もうまくいったかな。まだ次もあるので頑張りたい」

伊藤智也選手 (バイエル薬品) 銅メダル

「メダルは取れたから良かった。日本勢メダル独占はドバイ振りかな・・・気持ち良いね」



◆女子 100m (T63・義足) 決勝

兎澤朋美 (富士通) 7 位

「今日が今シーズン最後のレースで、色々改善はされつつあるがまだ完全ではない感じ。幅跳びに関しては今年も 5m 達成が出来ずに終わり、サポートしてくれる方々に申し訳ない気持ち。今シーズンは 100m、走り幅跳び共に自己ベストは更新できたので、着実に良い方向には向いていると思う。引き続き自分の課題に向き合いながら頑張っていきたい」

前川 楓 (新日本住設) 8 位

「スタートをミスリ、後半もうまくいかなかった。もう 1 回頑張ります。原因の一つとして、ソケットが少しくつくなってきて、でも作り変えるには時間がなかった。これが 2028 年 (ロスパラリンピックの年) でなくて良かったと思う。しっかり準備をすることが知ることができたのでこれは良かったかなと思う」

